

計画書のイメージ

1. 計画書の構成(案)

1. 計画の目的と位置付け
 - (1)計画策定の背景と目的
 - (2)計画の位置付け
 - (3)計画期間
 - (4)対象施設
 - (5)用語の定義

計画策定の背景や目的を明らかにし、上位計画や関連計画等を踏まえた本計画の位置付けと計画期間を示します。

さらに、対象となる公共施設と計画書に用いられる用語の定義を示します。

2. 公共施設の現状
 - (1)公共施設の状況
 - (2)公共施設に関する費用
 - (3)市民や利用者の意向

本計画の対象となる 144 の公共施設について、面積や構造等といったハード面の情報及び、利用やコストなどのソフト面の状況を整理します。

また、市民や利用者を対象に実施した公共施設に関するアンケート調査から公共施設に対する意向を整理します。

3. 再配置計画の基本方針
 - (1)上位関連計画の整理
 - (2)今後の見通し
 - (3)再配置の基本方針
 - (4)検討の進め方

本計画における上位関連計画を整理して、再配置を進めるに当たって必須となる前提条件や人口や財政等の今後の見通しを整理します。その上で、再配置を検討するに当たっての基本的な考え方と検討の進め方を示します。

4. 再配置方針
 - (1)再配置方針の設定
 - (2)17 類型別再配置方針
 - (3)ロードマップ
 - (4)再配置の効果の見込み

前項の基本方針を踏まえ、対象となる 144 施設について 5つの再配置方針を設定し、全施設を 17 類型に区分して具体的な再配置方針を示します。

さらに今後実施予定の事業についてロードマップを示し、これらが実現した際の効果の見込みを明らかにします。

5. 計画の推進
 - (1)進行管理と推進体制
 - (2)今後の進め方
 - (3)フォローアップ

本計画策定後の再配置の進め方を示します。

関連する個別施設計画の見直しや具体的なアクションプランの作成等の必要性をはじめ、計画の進行管理や推進体制、今後の進め方としてスケジュールやフォローアップの方針などを示します。

●資料編

資料編として、策定委員会をはじめとした策定経緯、本編に収録しきれなかった各種アンケート調査結果や分析データなどを掲載します。

計画書のイメージです。

2.17 類型別再配置方針の記載イメージ

類型1:公民館・コミュニティセンター(8施設)

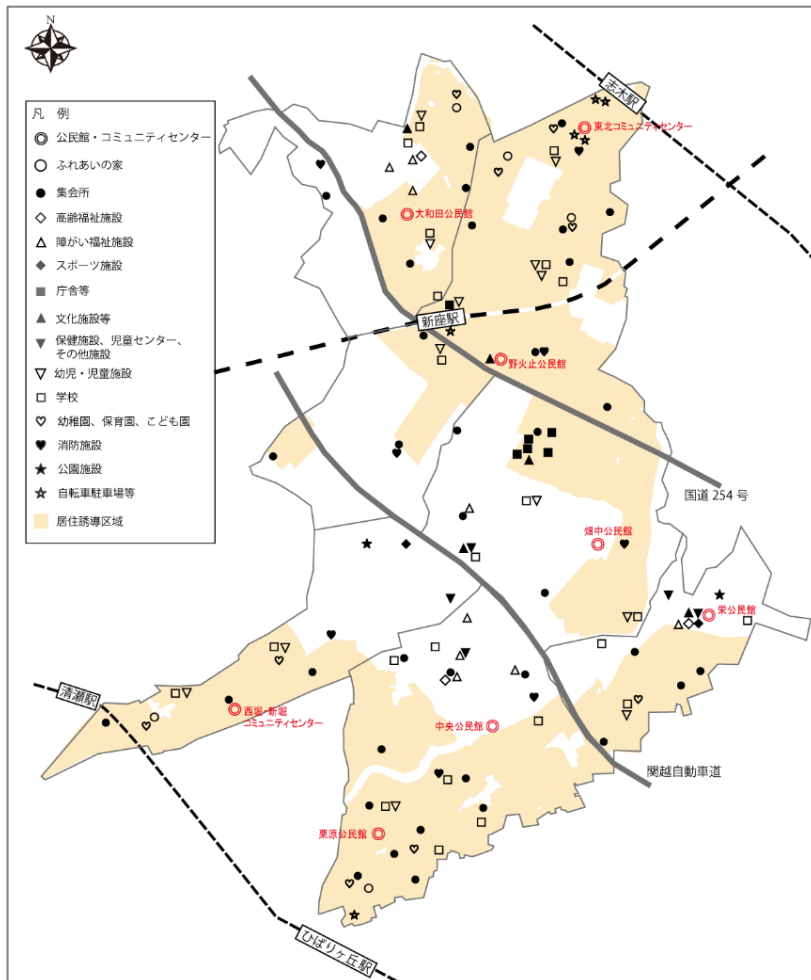
【類型別比較】

①設置目的等

◆公民館は、社会教育法において市町村が設置するものとされている施設であり、「住民のために、实际生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」施設です。

◆コミュニティセンターは、実態上は公民館ほぼ同じ機能を持つ施設で、地域住民が集会等で利用するほか、公民館と同様に各種講座を実施しています。

②施設位置図



③施設概要（R6施設カルテを基に作成）

◆8施設中、築40年を超える施設が4施設あり老朽化が進行していますが、大規模改修は実施されていません。

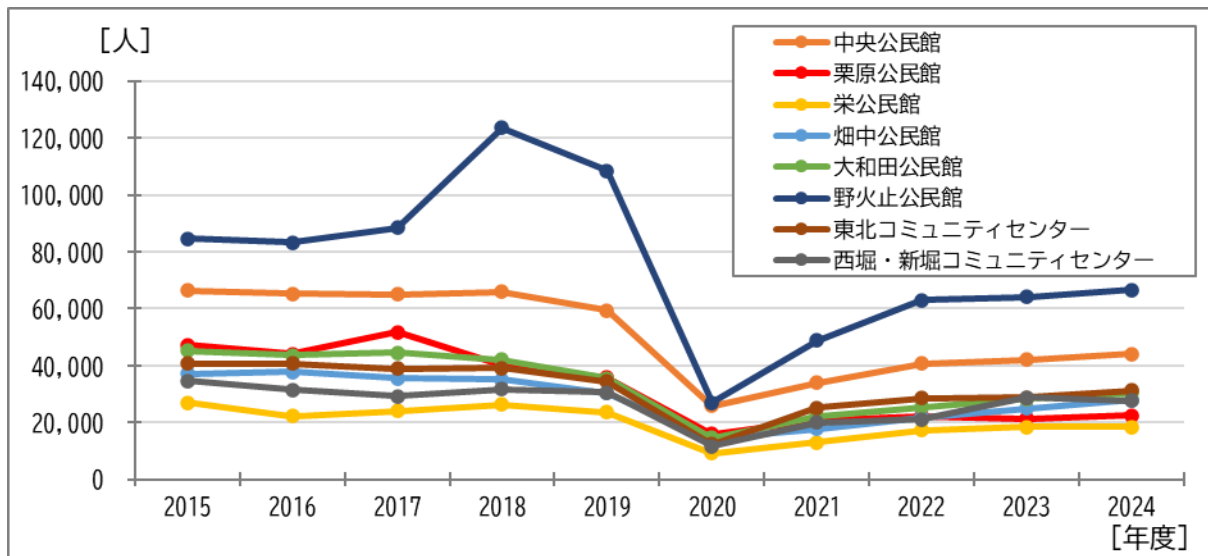
◆「中央公民館」と「栗原公民館」は一部借地となっています。

施設名称	設置年		築年数	設置位置	延床面積	構造	耐震性	大規模改修実績	土地所有
中央公民館	1978年	昭和53年	47年	道場2-14-12	1,632㎡	RC造	有	未定	一部借地
栗原公民館	1984年	昭和59年	41年	栗原3-8-34	882㎡	RC造	有	未定	市有地
栄公民館	1983年	昭和58年	42年	新塚1-4-2	819㎡	RC造	有	実施中	市有地
畑中公民館	1986年	昭和61年	39年	畑中1-15-58	1,078㎡	RC造	有	未定	市有地
大和田公民館	1987年	昭和62年	38年	大和田1-26-16	1,166㎡	RC造	有	未定	市有地
野火止公民館	2012年	平成24年	13年	野火止6-1-48	1,042㎡	SRC造	有	未定	市有地
東北コミュニティセンター	1981年	昭和56年	44年	東北2-28-5	742㎡	RC造	有	未定	市有地
西堀・新堀コミュニティセンター	1985年	昭和60年	40年	新堀1-5-9	1,489㎡	RC造	有	未定	市有地
類型平均			38年		1,106㎡	-	-	-	-

計画書のイメージです。

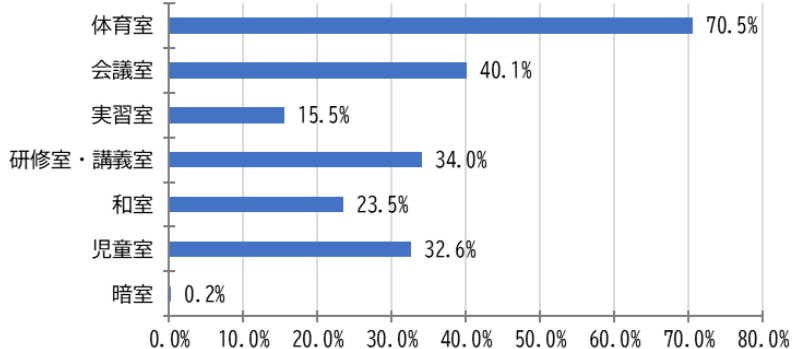
④利用状況（施設カルテより）

◆2019 年度までは年間 20,000 人～120,000 人程度が利用していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い利用人数が大きく減少し、2024 年度の利用者数はどの施設も 2019 年度の水準まで回復していません。



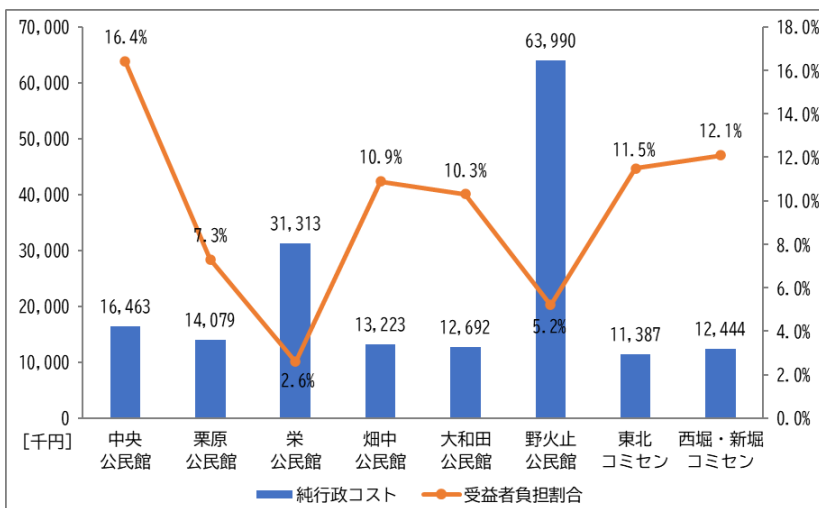
⑤稼働状況（所管課調べ）

◆主な部屋は、体育室、会議室、実習室、研修室・講義室、和室、児童室、暗室となっており、各部屋に余剰枠数が多くなっています。
◆2023 年度の年間稼働率では、特に暗室、実習室の稼働率が低くなっています。



⑥コスト状況（R 6 施設カルテを基に作成）

◆純行政コストが最も高いのは野火止公民館ですが、指定管理料の中にふるさと新座館（ホール）も含めた人件費や維持管理費が含まれているため、このような結果になっています。
◆野火止公民館と栄公民館については、延床面積1㎡当たりの純行政コストが類型平均を超え、受益者負担割合も低くなっています。



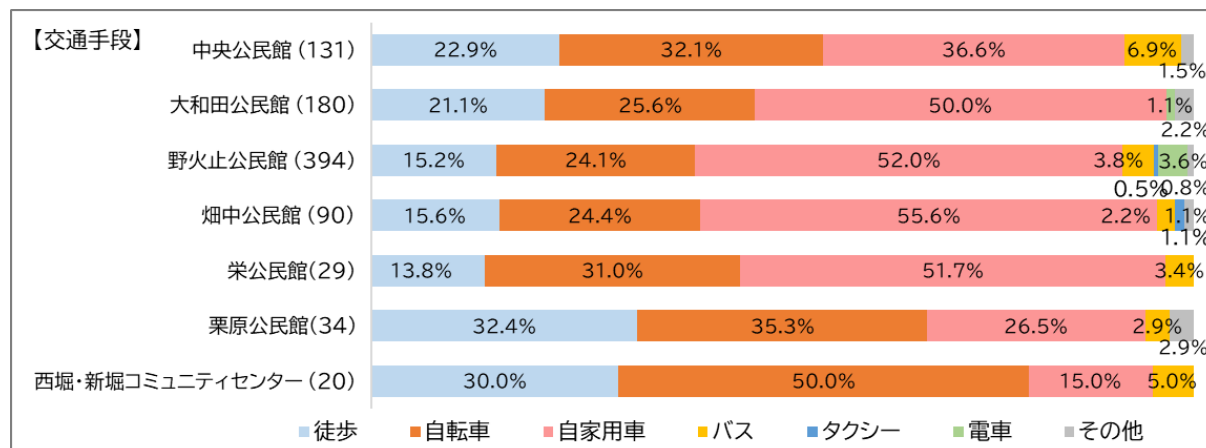
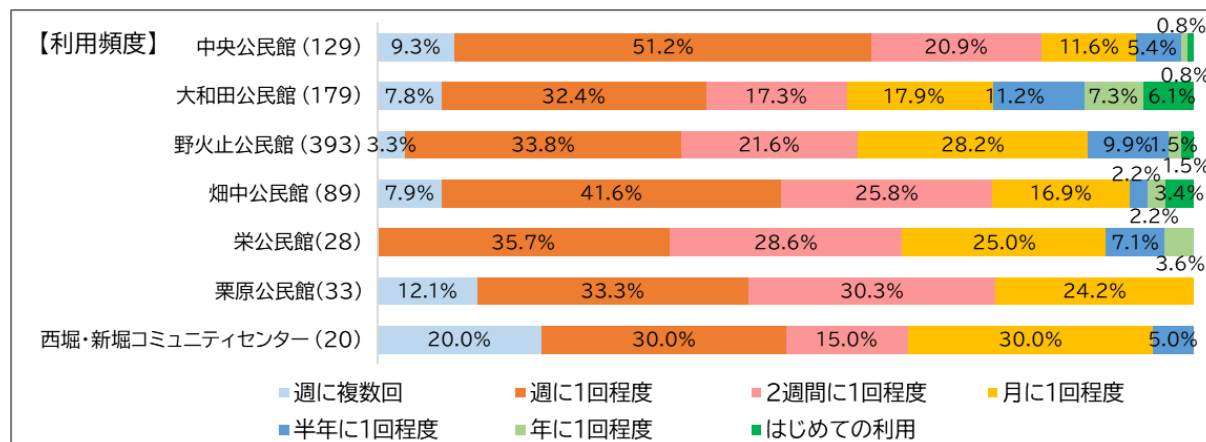
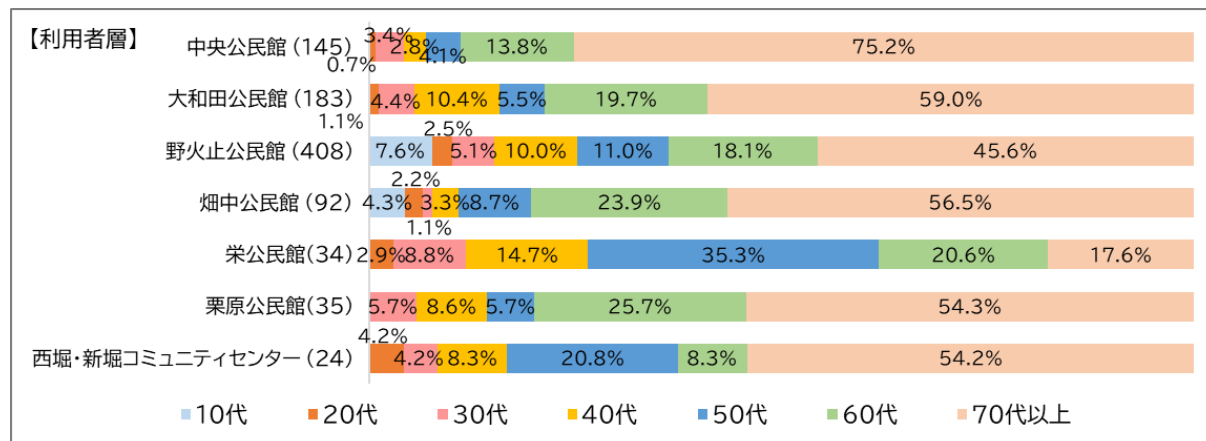
計画書のイメージです。

⑦機能や運営状況

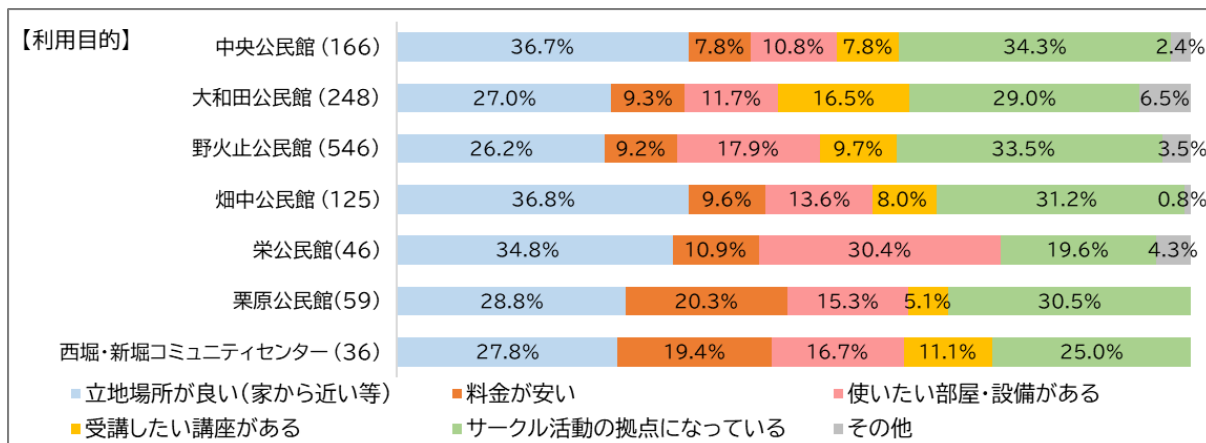
- ◆民間では各種習い事や貸しスタジオ等、市有施設としてはふれあいの家や集会所があります。
- ◆野火止公民館は、同一の建物にあるふるさと新座館ホールとともに一体的に指定管理者制度を導入し、効率的な運営に努めています。

施設名称	管理運営	開館日	休館日
中央公民館	直営	週6日(火～日曜日)	月曜日、年末年始
栗原公民館	直営		
栄公民館	直営		
畑中公民館	直営		
大和田公民館	直営		
野火止公民館	指定管理		
東北コミュニティセンター	直営		
西堀・新堀コミュニティセンター	直営		

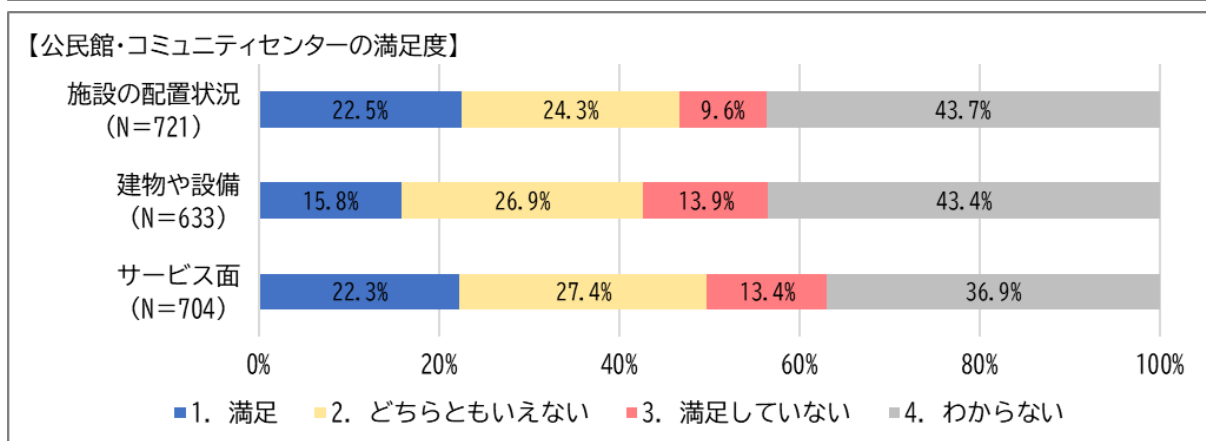
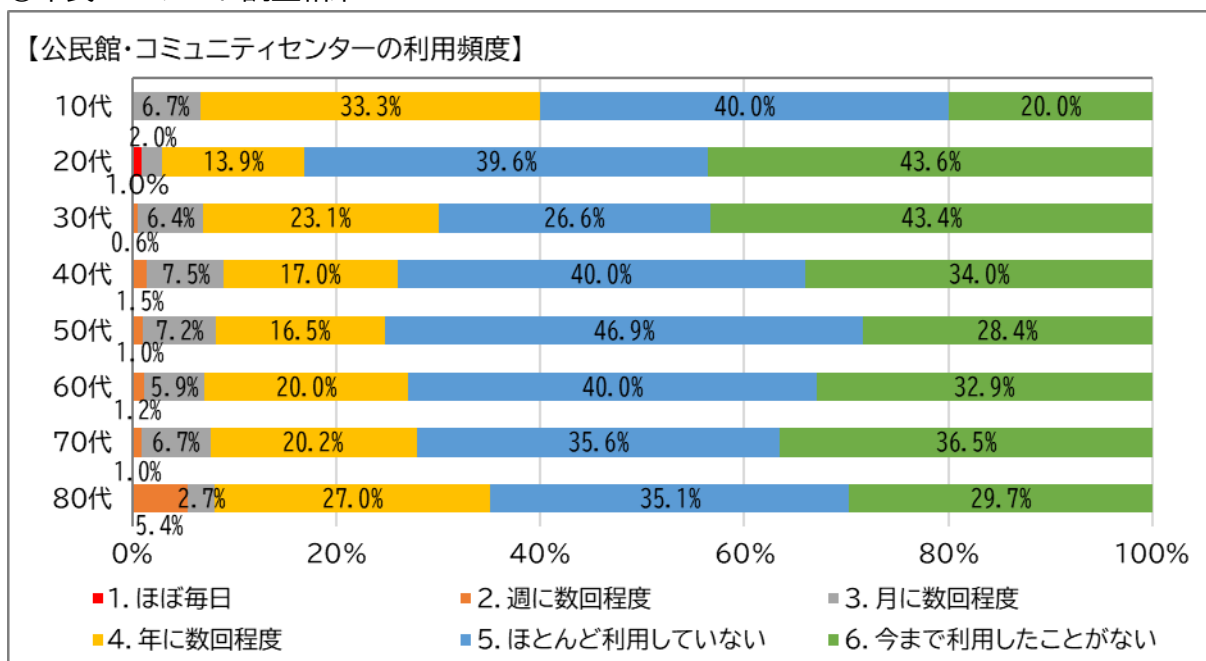
⑧利用者アンケート調査結果（東北コミュニティセンターでは実施していない）



計画書のイメージです。



⑨市民アンケート調査結果



【自由意見(抜粋)】

◆南西地域(20代):近くにふれあいの家やコミュニティセンターはあるが、どれだけの方々が利用し、充実した施設として機能しているのか。

◆南部地域(30代):児童センターや図書館、公民館が少ない。片山地区は全てが遠く利用しづらい。

計画書のイメージです。

【自由意見(抜粋)】

- ◆北西地域(40代):子育て世代だけ、高齢者だけのように偏るのではなく、どの世代の市民にも公平に使いやすい施設運営を希望する。また公民館や集会所が決まったグループの利用に偏ったり利用しづらいと感じる。
- ◆南西地域(40代):新堀地区は、コミセンしか利用出来る場所がなく、働いていると、イベントも平日ばかりで、参加が難しい。もっとイベントを増やして欲しい。
- ◆南部地域(80代):公民館を利用しているがトイレが和式が多いので不便。洋式に変えた方がいいと思う。

⑩課題

- ・建物全体の老朽化が進行しています。
- ・稼働率が低くニーズにマッチしていないと考えられる設備の利活用を含めた今後の施設のあり方の検討が必要です。
- ・後述するふれあいの家、集会所との機能の重複がみられます。

計画書のイメージです。

○再配置方針の検討にあたっての視点

- ・施設の老朽化度合い(計画期間中は現有施設を継続使用できるか)
- ・代替となる施設の有無
- ・利用状況
- ・敷地の所有状況(市有地か借地か)

○施設方針

対応時期[短期：～5年、中期：6～10年、長期：11～20年]

対象施設 [構造/築年数]	施設方針	施設方針を導き出した考え方 計画期間中の対応方針	対応時期
1. 中央公民館 [RC造/47年]	集約化 複合化	利用圏域が重なる中央公民館と栗原公民館との機能を集約化する。また、老朽化が進行している老人福祉センターの機能を複合化し、更新する。 八石小学校の統合検討により、その敷地を新施設の候補地の一つとして検討する。	中期
2. 栗原公民館 [RC造/41年]			
3. 栄公民館 [RC造/42年]	現状維持	令和7年度に長寿命化改修工事を実施する。今後も適切な維持管理を行う。	—
4. 畑中公民館 [RC造/39年]	現状維持 (のち廃止)	栄公民館と利用圏域が重複し、居住誘導区域外のため、将来的に長寿命化改修は実施せず、当面は通常修繕で機能を維持し、築60年を目安に廃止を検討。	—
5. 大和田公民館 [RC造/38年]	現状維持 (のち廃止)	野火止公民館や新座、北野、東ふれあいの家と利用圏域が重複することから、当面は通常修繕で機能を維持し、築60年を目安に廃止を検討。	—
6. 野火止公民館 [SRC造/13年]	現状維持	都市機能誘導区域内に立地していることから、施設の必要性は高い。計画期間中に長寿命化改修工事の実施対象とはならないことから、適切な維持管理を行う。	—
7. 東北コミュニティセンター [RC造/44年]	複合化 廃止	(仮称)三軒屋公園等複合施設の建設により、既存施設は廃止。 機能は複合施設に包含される形で継続。	短期
8. 西堀・新堀コミュニティセンター [RC造/40年]	長寿命化	市内の地域バランス(人口密度/公共施設量)を考慮し、施設存続のための長寿命化改修工事を実施する。	短期

○地区別の配置方針(検討中)

【都市機能誘導区域内】

- ・都市拠点に立地している東北コミュニティセンター(志木駅周辺)と野火止公民館(新座駅周辺)については、…。

【居住誘導区域内】

- ・区域内に立地している栗原公民館、大和田公民館、西堀・新堀コミュニティセンターについては、…。

【上記区域外】

- ・上記区域外に立地している中央公民館、栄公民館、畑中公民館については、…。